

玉ノ井だより

令和六年 九月場所 直前号

高校野球も終わり、そろそろ秋も近いというのに、

まだまだ暑い日が続いています。

玉ノ井部屋も、暑い暑い名古屋場所、

温かい歓迎の相馬合宿を終え、

戻ってきました東京両国国技館。

九月は本場所と、そのあとには東龍関の断髪式が控えており

ます。両国にいらっしゃる機会も多いこの九月。

玉ノ井だよりでは、両国さんぽを特集しました。

玉ノ井だより読者の方から寄せられた

力士への質問アンケートと共にお願いします。



両国通りの力士像



相馬は先代親方のふるさと。2020年4月にオープンした「スポーツアリーナそま第二体育館」には「大相撲玉ノ井部屋展示コーナー」があります。

玉ノ井 相馬岩子道場 土俵開き

場所向かう東白龍関と羽出山。

↑今年で最後のドルフィンズアリーナ 来年からのIGアリーナ↓

廻しを締めて稽古を付ける玉ノ井親方

「出発します!」と、清乃海・富士東・東俊隆

玉ノ井千秋楽祝賀会 主催:玉ノ井部屋後援会

相馬合宿恒例のパークゴルフ大会

名古屋場所千秋楽祝賀会は、ご覧の通り大変盛り上がりしました。

相馬盆踊り大会。大抽選会で大当たりした富士東。

浜の駅松川浦でのちゃんこ鍋ふるまい。

デイ施設を訪れ、相撲甚句や鬻結いなどを披露しました。推し団扇などで大歓迎を受け、大盛り上がりでした。

⑥ あんこあられの 両国 国技堂

「あんこあられ」や「土俵サブレ」など、両国に因んだお菓子で有名な「国技堂」。あられに納豆とチーズがのった「ねばりごし」は癖になる美味しさ。また、ここでしか買えない「鬻付け油ポディソープ」は超おススメ!お風呂でこれを使うと、まるで力士たちと一緒に風呂に入っているよう!

④ 刀剣博物館

旧安田庭園内にある、日本国内でも数少ない日本刀専門の博物館。3Fの屋上庭園からは、旧安田庭園越しの両国国技館大屋根が見える。入場料 大人1,000円学生(高校生~)500円中学生以下無料。

⑦ 回向院

振袖火事の別名でも知られる明暦の大火の犠牲者を葬るため当時の将軍、徳川家綱の命によって築かれた「無縁塚」が起源の回向院。その後明治の時代に境内で勳進相撲が興行され、今日の大相撲の元となった。境内には、山東京伝・竹本義太夫・鼠小僧次郎吉らの墓がある。境内に咲く草花も美しい。

⑤ 両国江戸NOREN (のれん)

「美味さと文化の今を江戸空間でつなぐ」をコンセプトに、生まれ変わった両国駅の旧駅舎。ちゃんこ・和食・焼き鳥・ラーメンなどの店々が、江戸の町屋を意識した吹抜け空間と、火の見櫓、原寸大の土俵を前に立ち並ぶ。「両国観光案内所」もあり、周辺の情報も集められる。お土産屋も併設。街歩きに疲れた時の休憩所としても重宝。

⑧ ライオン堂

創業明治40年 キングサイズの専門店「ライオン堂」品ぞろえは胴囲100cm以上。もちろん力士御用達! キングサイズの衣類のほか、力士錦絵暖簾や力士柄ハンカチなど、相撲グッズも販売。

③ 旧安田庭園

元は元禄年間に常陸笠間藩・本庄宗資により築造された大名庭園。関東大震災によって壊滅的な被害を被ったが、当時の東京市が復元。昭和2年に市民の庭園として開園した。池には鯉や亀の姿が見られ、人工的に水位の干潮が再現されている。入場無料

① 両国国技館

いわずと知れた大相撲の聖地。歴史的に貴重な資料や錦絵、化粧廻しなどの展示がある「相撲博物館」や「相撲教習所」、「診療所」がある。相撲博物館は、本場所開催中はもちろん、それ以外の平日も開館。

② 江戸東京博物館

江戸東京400年の歴史と文化をめぐる博物館。展示の建物や模型は、細部にわたり忠実に再現され、まるでその時代にタイムスリップしたかのような気分が味わえる。現在は改修工事の為2025年まで休館中。

それはそれは暑かった今年の夏 九月になれば流石に過ごし易くなるはず... 両国さんぽ

九月は両国九月場所。それに、28日には東龍関の断髪式も国技館で行われます。国技館を訪れたついでに、付近を巡るのはいかがでしょう。

